### 2 金松市地の交易で表していたの意思を表していたの意思が、	社会資本総合整備計画	(沽刀創出2	垦盤整備)	事後評価書							平成 27 年 2 月 2	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	計画の名称 2 金沢都市	市圏の交通円滑化と	:魅力あるまちづく	りにより、賑わいの	の創出を	図る地域づくり						
のようで含ませいが含まり、残るで、残った。 では、 一般であった。 本語のでは、 本		変 ~ 平成25年 原	〔5年間〕			交付対象	石川県、金沢市、野々	市市、津幡町、内灘町	A			
3. 方で食品市及び原活所間の企業部前門の企業部前門の企業部が開発したっており、会保中心の一様人・通信する通過・進序の実施が多く、整理的な交通的影響が開放な主に対した対抗力もまちづくのを図る。	計画の目標											
・安全・映画を発掘し、運動・通学の利便性を向上させることにより、全然都市圏を中心とした遅端市町村の定住者の海加等さらなる発展、活性化につながることが予想される。 ② 世帯	る。一方で金沢市及び近郊市町の金沢都市圏では、地方特有の車中心社会となっており、金沢中心部へ流入・通過する通勤・通学の車両が多く、慢性的な交通渋滞の解消及び自転車、歩行者の安全性確保が課題となっている。											
	計画の成果目標 (定量的指標)											
① 武海による損失時間 ※1年間に改腐によって失われる時間 (は満による損失時間 ※1年間に改腐によって失われる時間 (は満による損失時間 ※1年間に改腐によって失われる時間 (は満による損失時間 ※1年間に改腐によって失われる時間 (は河南離・基準旅行連度) × 区間交通量×平均乗車人員数×365 万人時間/年 本美元・後 本美元・後 会校の支援体制 大変時期 本美元・後 本教育の支援体制 大変の方法 石川県において評価を支援 ・全校外債状道路衛勢幹離日期区間の整備により、国道8号などの周辺道路から交通が転換し、周辺道路で発生していた交通院海が削減された。 ・ (都) 疋田上光星線 (北安江) の整備により、金沢市中心部へアクセスする円滑な交通が確保とれた。 ・ (都) 疋田上光星線 (北安江) の整備により、金沢市中心部へアクセスする円滑な交通が確保とれた。	・安全・快適な交通環境を	を整備し、通勤・通	首学の利便性を向 上	:させることにより、	、金沢都	市圏を中心とした	上近郊市町村の定住者の地	増加等さらなる発展、	活性化につながる、	ことが予想される。		
① 武器正よる祖失時間 ※1年間に設備によって失われる時間 (空間外間) = 「(区間外間・実際の旅行速度) − (区間外間・実際の旅行速度) − (区間外間・基準的子 − (区間外間・基準的子 − (区間外間・大きないでは、											備老	
① 記憶による損失時間 ※1 中間に診滞によって失力れる時間 (決勝による損失時間) = ((区間路難・実際の旅行速度) → 区間発離・基準終行速度) → 区間交通量×平均乗車人員数×365 万人時間/年 7年後の第4年日/年 7年7年7年7日 7年7日 7年7日 7年7日 7年7日 7年7日 7											V. and	
(会務による損失時間) = [(区間距離主実際の旅行速度) - (区間距離主要無所で速度)] × 区間交通量×平均乗車人員数×365 万人時間/年 万人年 万人時間/年 万日/年 万日/日 万日/年 万日/日 万日/日 万日/日 万日/日 万日	① 連進に上ス掲生時間 ※	1 年間に辿進によっ	てたわれて時間					1 1 1 1 1 1 1				
全体事業費 (A+B+C) 24、351百万円 A 22、575百万円 B 281百万円 C 1、495百万円 効果促進事業費の割合 C (A+B+C) 6.1% -				- (区間跖離・ 11 淮)	旅行油度))) > 区間次通量		· ·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
T	(次価による頂人間間)	一(〇四四四世・ラ	医医疗加门还及	(四同起降・五年/	八 1 座/文/	/) 八四间又通星	4、下均水平八貝数八日	73 /C#1 [H]/ —	73 7 CPG [HJ/ -	73 / Cm3 [H3]/ -[-		
T												
T		N =1						村田 10 光寺	子供車の割り			
# 後 評 値			51百万円 A 22,575百万円 B		В	281百万円	C 1, 495百万円	万川			6. 1%	
事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体則 事業完了後 公表の方法 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日	(A+	B+C)						C/ (A	+B+C)			
事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体制 事後評価の実施体則 事業完了後 公表の方法 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 石川県ホームページで公開 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日						市 仫 訂	Ţ (H					
事後評価の実施時期	○東後証圧の実施仕制 実施時期					尹 仮 計	т үш					
本業党工後							東谷証価の宝旋時期					
	ず後計画の大心体的											
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況 石川県ホームページで公開 I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況 ・金沢外環状道路海側幹線Ⅲ期区間の整備により、国道8号などの周辺道路から交通が転換し、周辺道路で発生していた交通渋滞が削減された。 II 定量的指標の達成状況 指標の (交流: れあい時間) 投終目標値 2,000万人時間/年 投終支統値 1,944万人時間/年 日標値と実統値 (差が出た要因) 日標値と実統値 (差が出た要因) ・成25年3月の「のと里山海道の無料化」や、平成27年3月の「北陸新幹線金沢開業」などの効果を金沢都市圏全域に波及させるため、集中的な投資により、完成の前倒しを行った路線があるため。 II 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 ・(都) 専光寺野田線の野町地区の完成など、無電柱化による街並み景観の整備や快適な歩行空間の整備により、金沢の魅力あるまちづくりを推進し、賑わいの創出が図れた。 II 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 ・(都) 専光寺野田線の野町地区の完成など、無電柱化による街並み景観の整備や快適な歩行空間の整備により、金沢の魅力あるまちづくりを推進し、賑わいの創出が図れた。												
1 定量的指標に関連する												
1 定量的指標に関連する							右川県ホームページ	で公開				
1 定量的指標に関連する	9 東紫効果の発現状況 日搏値の	ノ孝中作治										
1 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況 ・ (都) 疋田上荒屋線 (北安江) の整備により、金沢市中心部へアクセスする円滑な交通が確保された。 ■ 定量的指標の達成状況 撮標① (交流かれあい時間) 最終目標値 2,000万人時間/年	2. 事未劝未仍光死仇仇、口惊胆。	建成机机	<u> </u>									
交付対象事業の効果の発現状況 ・ (都) 疋田上荒屋線 (北安江) の整備により、金沢市中心部へアクセスする円滑な交通が確保された。 II定量的指標の達成状況 指標① (交流かわい時間) 最終実績値 2,000万人時間/年 目標値と実績値に差が出た要因 最終実績値 1,944万人時間/年 日標値と実績値に差が出た要因 最終目標値 日標値と実績値に差が出た要因 最終実績値 日標値と実績値に差が出た要因 正定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 ・ (都) 専光寺野田線の野町地区の完成など、無電柱化による街並み景観の整備や快適な歩行空間の整備により、金沢の魅力あるまちづくりを推進し、賑わいの創出が図れた。			・金沢外環状道路海側幹線Ⅲ期区間の整備により、国道8号などの周辺道路から交通が転換し、周辺道路で発生していた交通渋滞が削減された。									
			(100)									
指標① (交流ふれあい時間) 上標値と実績値	交付対象事業の効果の発現物	犬況	• (都) 疋田上荒	荒屋線(北安江)の	整備によ	り、金沢市中心部	、金沢市中心部へアクセスする円滑な交通が確保された。					
指標① (交流ふれあい時間) 上標値と実績値												
指標① (交流ふれあい時間) 上標値と実績値		T										
れあい時間) 最終実績値 1,944万人時間/年 最終目標値 最終実績値 最終実績値 最終実績値 最終実績値 最終実績値 ・ (都)専光寺野田線の野町地区の完成など、無電柱化による街並み景観の整備や快適な歩行空間の整備により、金沢の魅力あるまちづくりを推進し、賑わいの創出が図れた。			最終目標値	2,000万人時	間/年							
最終実績値 1,944万人時間/年	Ⅱ定量的指標の達成状況		ア美が山を画田 十成と3年3月の「の									
最終目標値 目標値と実績値 に差が出た要因			最終実績値	1,944万人時	間/年	に左が山に安囚	沢都市圏全域に波及さ	せるため、集中的な技	前倒しを行った路線	しを行った路線があるため。		
■ 目標値と実績値に差が出た要因			THE TOTAL PROPERTY.		1.97							
■ 目標値と実績値に差が出た要因			是效日搏值									
最終実績値 に差が出た要因 に差が出た要因 ・ (都)専光寺野田線の野町地区の完成など、無電柱化による街並み景観の整備や快適な歩行空間の整備により、金沢の魅力あるまちづくりを推進し、賑わいの創出が図 に定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 れた。												
・(都)専光寺野田線の野町地区の完成など、無電柱化による街並み景観の整備や快適な歩行空間の整備により、金沢の魅力あるまちづくりを推進し、賑わいの創出が図 正定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 れた。						に差が出た要因						
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 れた。			最終実績値									
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 れた。		•										
			1007 42-11	予田線の野町地区の	完成など	、無電柱化による	る街並み景観の整備や快	適な歩行空間の整備に	より、金沢の魅力	あるまちづくりを丼	推進し、賑わいの創出が図	
(必要に応じて記述)		D効果の発現状況	れた。									
	(必安に応して記述)											

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・平成27年2月の能越自動車道(七尾氷見道路)の開通や平成27年3月の北陸新幹線金沢開業など、石川県では新たな高速交通ネットワークの整備が進展することから、その効果を金沢都市圏全域に最大限 波及させるためにも、安全で快適な交通環境を整備し、地域の発展や活性化を図る。
- ・金沢市中心部には多くの歴史的遺産を活かした観光施設が多数存在していることから、これらの観光施設までのアクセス道路を整備することにより、渋滞の解消や移動時間の短縮を図るとともに、歩行環境の の向上など、魅力あふれるまちづくりを推進することができ、地域の発展や活性化につなげることができる。